



2021年5月14日

各位

会社名 K I Y O ラーニング株式会社
代表者名 代表取締役社長 綾部 貴淑
(コード番号: 7353 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 管理部長 秦野 元秀
(TEL: 03-6434-5590)

第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は最近の業績動向等を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の第2四半期累計期間における業績予想につきまして修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)通期業績予想については変更ありません。

1. 業績予想の修正

2021年12月期 第2四半期累計期間 業績予想(2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年2月12日公表)	百万円 944	百万円 △105	百万円 △106	百万円 △106	円 銭 △48.53
今回修正予想(B)	964	△73	△74	△64	△29.15
増減額(B-A)	20	32	32	42	-
増減率(%)	2.1	-	-	-	-
(ご参考) 前第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	601	△11	△13	△13	△7.17

2. 修正の理由

当社は、個人向け事業としてオンライン資格対策講座「STUDYing(スタディング)」、法人向け教育事業として社員教育クラウドサービス「AirCourse(エアコース)」を展開しております。

第1四半期(2021年1月～2021年3月)におけるスタディングにおいては、新型コロナウイルスのプラス要因による需要の増加効果は徐々に薄れてきておりますが、従来から取り組んできたサービス力強化やマーケティング力強化による受注拡大に加え、2021年1月に実施したテレビCMの効果等により、受注が増加いたしました。法人向け教育事業においても、企業のテレワーク化に伴い集合研修の代替・補完手段としてのeラーニング需要が高まり、エアコースの受注が当初想定を上回って推移いたしました。一方、費用面においては、人材の採用にやや遅れが見られ、第2四半期累計期間における採用費及び人件費が減少する見込みとなりました。

これらの結果、2021年12月期第2四半期累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)における売上高は当初予想を超過する見込みとなり、また採用費、人件費の減少に伴い販売費および一般管理費の低減により、営業利益、経常利益、当期純利益についても当初予想から改善する見込みとなったため、上方修正を行うものです。

なお、2021年12月期通期業績予想については、テレビCMを含む広告宣伝費の積極投下に加え、スタディング事業の受注増大や法人向け教育事業の拡大にむけたマーケティング、システム・AI開発、コンテンツ開発、優秀な人材採用といった分野に投資していくことで、持続的かつ高い成長を実現し企業価値を高めていく方針であり、変更はございません。

※当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上